

各位

2026 年 10 月 8 日

株式会社スペース

新進アートの登竜門「Independent Tokyo 2026」への協賛でアーティストを支援しました



商業施設をはじめとした多彩な空間づくりを行う株式会社スペース（本社：東京都中央区、代表取締役社長：庄村香史）は、アートイベント「Independent Tokyo 2026」（主催：株式会社タグポート）に協賛し、当社東京本部第2事業部 事業部長の澤田貴史が審査員を務めました。当社は特別賞として「スペース賞」を設け、左官士アーティストの相川出后（あいかわ・いずみ）さんを受賞者に選出しました。

｜次代を担う約 400 組のアーティストが出展

Independent Tokyo は、株式会社タグポートが主催する若手アーティストの発掘・育成を目的としたアートイベントです。2009 年の開始以来、数多くのアーティストを世に送り出してきた登竜門として知られています。今回は約 400 組のアーティストが出展し、ギャラリストや企業関係者など 29 人の審査員が参加し、グランプリや準グランプリのほか、企業・団体による特別賞の選考が行われました。また、特設ステージでは SNS を駆使したアーティストのブランディング戦略や AI アートの紹介など、次代のアートを見据えた複数のトークイベントも開催されました。



第一線で活躍するアーティストによるトークセッションも実施されました

｜空間づくりの視点で選ぶ「スペース賞」

当社は、2025 年よりアーティストの発表機会創出を目的とした「アート解放区 人形町」をタグボートと共同で運営するなど、アートとの連携を進めています。また、2026 年 7 月には HOTEL GEOMETIQ Osaka Umeda, an Ascend Collection Hotel において、客室アートの企画から設置までを担うアートディレクションを手掛けました。

こうした取り組みを背景に、今回審査員の一員として参画し、特別賞「スペース賞」を設けました。

｜スペース賞に左官士アーティスト・相川出后さん

スペース賞の審査においては、作品そのものの表現力だけでなく、さまざまな空間との調和や新たな空間価値を生み出す可能性を重視するなど、空間づくりを手掛ける企業ならではの視点を生かして審査を行いました。

選出された相川さんは、左官職人として培った技術をベースに、漆喰の下地に麻と藍を合わせた藍漆喰を重ねる独自の表現で作品を展開しています。見る人や設置される場所によって異なる景色を想起させる作品であり、多様な空間に調和する柔軟性と洗練された表現が、当社の空間づくりの考え方とも重なったことから、相川さんをスペース賞に選出しました。



見る人や設置される場所によって異なる印象を生み出す作品と相川さん

｜受賞者 相川さんのコメント

アート活動をさらに頑張りたいという思いで Independent Tokyo 2026 に参加しました。まさかスペース賞をいただけるとは思ってもおらず、ただただ嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。伝統左官ならではの自然素材の心地よさと表現の面白さを生かし、人がくつろぎ楽しく過ごせる空間に馴染む作品をつくっていきます。今回の受賞を励みに、これからも左官とアートの可能性を探りながら、新たな挑戦を続けていきます。

｜審査員 当社東京本部第2事業部 事業部長 澤田貴史のコメント



左官という伝統的な建築技術を用いながら藍の染色を交えた新たな手法へ挑戦する姿勢と、観る人や場所、時間によって異なる表情を見せる作品に、表現の可能性と当社が目指す空間づくりとの高い親和性を感じました。

当社は今後もアーティストや作品が持つ価値と、空間づくりを通じて培った知見とネットワークを掛け合わせながら、新たな価値の創造に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社スペース 広報部 前田・市川

MAIL : media@space-tokyo.co.jp